

事務事業マネジメントシート(令和 2年度実績と令和 3年度計画)

令和 3年12月20日更新

事務事業名		放課後児童クラブ室維持管理事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	衛藤 文明
	施 策	4 子育て支援の充実				所属課	子育て支援課	担当者名	宮崎 大輔
	施策の柱	16 子育てと仕事の両立支援				所属班	保育班	(内線)	1182
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10571	根拠法令	合志市学童保育施設条例	
終了、開始年度		☐ 2年度で終了 ☐ 2年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	公設の放課後児童クラブ施設において不具合が生じた場合に、修繕や改修を行う事業。 なお、光熱水費については、旧合志で、平成5年度に南ヶ丘小に、平成7年度に合志南小に、仕事等で昼間保護者がいない小学校低学年児童の育成指導のため放課後児童クラブ保育室が設置され、両施設とも町負担としていた。一方旧西合志では、運営主体の保護者会が負担しており、また、運営費には保育活動に係る経費も含んでいるため、合併協議により合併後は両町の助成方法を統一することで調整されていることもあり、光熱水費については、平成19年度から運営主体の負担とした。
【業務の流れ】	市内小学校放課後児童クラブの施設修繕管理①現地確認 ②事業施行伺い ③見積徴収 ④工事完了報告書 ⑤検査 ⑥修繕費の支払
【主な予算費目】	施設修繕費
【意見や要望】	例年、運営事業者（保護者会等）から施設・備品等の修繕依頼があっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 2年度実績(2年度に行った主な活動) (DO) 西合志東小学童クラブの空調機器の修繕を行った。		3年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 学童保育施設の突発的な不具合に対し、速やかに修繕を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア: 施設修繕数	箇所		
⇒ イ:			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 放課後児童クラブ室	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		⇒ ア: 修繕等を必要とする箇所数	施設
		⇒ イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・学童クラブ室を良好に維持する。 ・学童クラブ運営事業者の経済的負担が軽減する。	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
		⇒ ア: 修繕した割合(修繕した力所数÷修繕等が必要な箇所数)	%
		⇒ イ:	
*③成果指標設定の理由と 3年度目標値設定の根拠 施設修繕であるため、修繕した割合とした。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	30年度 実績(決算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	2年度 実績(決算)	3年度 目標(当初予算)	4年度 予定	5年度 見込	6年度 見込
① 活動指標	ア	箇所	1	4	4	1	4	2	2	2
	イ									
② 対象指標	ア	施設	1	4	4	1	4	4	2	2
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	400	553	400	748	400	400	400
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	400	553	400	748	400	400	400
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	2	1	2	1	2	2	2
入 費 量	人 件 費	延べ業務時間	時間	120	100	140	100	140	140	140
		(B) 人件費計	千円	473	396	557	394	557	557	557
		トータルコスト(A)+(B)	千円	873	949	957	1,142	957	957	957

合志市

事務事業名	放課後児童クラブ室維持管理事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 2年度的事後評価、ただし複数年度事業は 2年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 2年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】 学童クラブから申し出のあった修繕が必要な部分については、全て対応した。
	② 3年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 申し出のあった修繕は全て対応する予定であり、達成する見込みである。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 施設管理事業であるため、向上余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設の修繕等の事業であるため他に手段はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 現在は、軽微な施設・設備の修繕等は運営事業者で負担することとしており、市の負担は軽減している。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員配置で業務を遂行しており、削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 放課後児童健全育成事業は、児童福祉法の規定に基づき実施する事業であり、市において施設を整備しているため、その施設に不具合が出た場合に対応することは公平公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 軽微な施設・設備の修繕は運営事業者が行うこととし、維持管理の費用負担を区分したため、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

築15年以上経過した施設では、施設修繕等が必要となる可能性も高いが、迅速に対応し、児童の安全、安心な保育環境の場を確保したい。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 □廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 □事業のやり方改善（有効性改善） □事業のやり方改善（効率性改善） □事業のやり方改善（公平性改善） □現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																						
		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								